



# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」



特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## 「場面緘黙児を理解しよう」

### 1 場面緘黙（選択性緘黙）とは

話す能力があり、家では普通におしゃべりするのに特定の社会的場面（学校等）で話すことができない状態で、わざと「話さない」のではなく、不安や緊張のために「話せない」ということ。声が出ないだけでなく、体を思うように動かせない状態を「緘動」、家でも話すことができない状態を「全緘黙」という。発達障害の子どもの特性として、場面緘黙の症状が出る場合もある。

- 発症時期 多くは2～5歳、また小学校低学年。
- 出現率 0.2～0.5%、女子の方が多い。
- 特徴 話しているところを見られたり聞かれたりすることに恐怖を感じる。
- 原因 ①不安・緊張に関係するもの（外の世界から自分を守るために話さない）。  
②発達上の特徴に関係するもの（自閉スペクトラム症等の症状の一つ）。  
③複合的な要因に関係するもの。

### 2 三つの基本目標（発話ではなく、不安に注目する）

- (1) 不安を軽減する（情緒の安定）。・・・楽しく
- (2) 自己評価を高める（情緒の安定）。・・・自信を付けながら
- (3) 社会的交流を増やし、社会場面で自信をつける（行動の変化）。・・・場数を踏む

### 3 社会的場面におけるコミュニケーションが成り立つための階層構造

- 第1の水準・・・動作・態度表出（その場に足を運ぶ）
- 第2の水準・・・感情・非言語表出（非言語的な方法で意思を伝える）
- 第3の水準・・・言語表出（思いを言葉で伝える）



### 4 緘黙児への接し方

#### (1) よい接し方

- ①リラックスできる環境を整える。
- ②非言語的コミュニケーションを大切にする（ジェスチャー・筆記・指さし・連絡帳）。
- ③声を掛けるが答えや反応は求めない（声を掛けてもらえることはうれしい）。
- ④さりげなくほめる。

#### (2) よくない接し方（症状が悪化する）

- ①話すようにプレッシャーを与える。
- ②物でつったり、強要したり、脅したりして話をさせようとする。
- ③話さないことを責める。
- ④人に注目させる。

### 5 答えやすい質問

- Yes-Noで答えられる質問  
お昼ごはんは食べましたか？
- 答えが1つの質問（選択肢あり）  
りんごとぶどうどちらが好きですか？
- 答えが1つの質問（選択肢なし）  
○○さんの弟の名前は何といますか？



□答えが複数ある質問（具体例あり）

好きなキャラクターはありますか？（例：ミッキーとかプーさんとか・・・）

□答えが複数ある質問（具体例なし）

部活動ではどんなところが大変でしたか？



## 6 基本的な対応

(1) 子どもの状態を理解する

①人：誰と話せるか ②場所：場所や周りの状況は？ ③活動：何をしているときか？

(2) 適切な環境を整える

①コミュニケーションを大切にする ②不安を減らす ③学級の理解を促進する

(3) 有効なアプローチを検討する

①情緒の安定（不安を軽減、自己評価を高める）→②行動の変化（社会的交流を増やし、社会場面で自信をつける）

①活動（イラスト描き、トランプ、卓球）→②場所（保健室、相談室、教室）→③人（友達、先生、保護者と一緒）

## 7 病院ができること

- ・緘黙の背景に発達の問題が隠れていないか判断をする（必要ならそれに対する治療）。
- ・保護者や学校へ説明をする。
- ・不安緊張が強い場合は薬物療法（不安を減らすためには有効、それで緘黙が治る訳ではない）を行う。

## 8 学校ができること（環境調整）

- ・メモや連絡ノート、交換日記を使って、教師とのコミュニケーションの促進を心掛ける。
- ・提出課題や連絡事項もメモや連絡ノートで確認できれば安心できる。
- ・意思表示を確認する（手を挙げたらYES、首を振ったらNo、人差し指と親指でOKマーク）。
- ・できる限り不安を軽減する方法を検討する（トイレの促し、昼食場所、座席、返事、発表、予定、連絡）。
- ・話さなくても参加できる活動、学級のためにできそうな係活動を用意する。
- ・学習面で不利にならないように、本人と相談しながら特別時間割を組む。
- ・話すことに代わる成績評価や参加方法を工夫する。例：筆記形式、自宅での録音等
- ・リモートによる学習を実施する。
- ・作品や課題等、学校でできなかったものは、保護者と相談して家庭に持ち帰りを勧める。
- ・友達関係をサポートする。

場面緘黙は「時間がたてば治る」「自然と話せるようになる」と言われていましたが、現在、日本では「自然に治る」という見方は適切でなく、早期発見・早期対応が重要であるとされています。場面緘黙のある人が抱えている困り感は一様ではありませんが、ほとんどの場面緘黙のケースで共通して「安心できる環境」「力が発揮できる環境」を整えることが重要だと言われています。トレーニングをして話せるようになる訳ではなく、まずは「もともとできていることをほかの環境でも安心してできるようになること」を目指すことが大切です。



**とれたて直送便**



「想像力＝思いやり」

人の視野は約180度。残りの約180度（後方）を見るためには、感性、察知力、想像力（思いやり）を働かせて、「後ろに迷惑をかけていないか」と注意を払うことが大切です。

今年度から行っている『多様性理解授業』のテーマは、「相手の気持ちを考えて行動しよう」です。「鳥は翼があるから空を飛べる。魚はひれがあるから海を泳げる。人は想像力（思いやり）があるから見えない相手の気持ちを考えることができる」と伝えています。